

SDGsで企業発展を目指そう

ぐんまSDGsコーチングプログラム～inみどり～

開催概要

専門家による集合カウンセリングを通じて、SDGsの理解を深め、経営戦略、経営に役立つ目標設定や計画作成を学びます。

目的・効果

SDGsを活用して企業経営における「新たなビジネスチャンス」の獲得や「企業の魅力向上」、「人材の獲得」などを目指します。

開催日程

令和5年8月以降（全4回：各回3時間程度）

参加要件

市内の中小企業者であること

*事前に2030SDGsカードゲームを体験していることが要件になる場合があります。

参加費用

2万円/1事業者

募集定員

10事業者（1事業者あたり2名まで）

その他

上記は現時点での予定です。日程・会場等含め詳細が決定しましたら改めてご案内いたします。

昨年度参加の事業者様

事業者名	所在地
アライ商会(株)	大間々町
(株)協和	笠懸町
(有)シー・アンド・シー	笠懸町
(株)タイヨー	大間々町
(株)タツミ製作所	大間々町



修了式の様子

★参加してみて

- ・自社の強みと弱みがはっきりとし、今後に活動すべきことが明らかになった。
- ・労務問題をSDGsにつなげるため何に取り組むべきかが分かった。
- ・自社製品やサービスがSDGsに関係していることを従業員に理解してもらい仕事に誇りを持ってもらうことの重要性が理解できた。

お問い合わせ

みどり市産業観光部商工課 TEL:0277-76-1938
Email: kigyoyuchi@city.midori.gunma.jp

昨年度の開催内容

1日目

○SDGsを知る

- ・SDGSへの取り組み意義
- ・中小企業が取り組むべきこと
企業がSDGsに取り組む必要性の理解、具体的な取り組み。

2日目

○事業をSDGsで考える①

- ・労務問題と企業コンプライアンス
- ・目標管理・宣言書についての説明
働きがいや労働問題と自社の取り組みについて理解を深める。

3日目

○事業をSDGsで考える②

- ・地球環境問題
- ・バリューチェーンマッピングの進捗確認
SDGsと地球環境問題についての理解を深める。

4日目

○SDGs宣言！

- ・各作成資料の進捗確認
- ・発表会、修了証授与
成果として、作成した目標管理・宣言書について発表する。

◆自社分析シートの例



SWOT分析

	好影響	悪影響
内部環境	Strength (強み)	Weakness (弱み)
外部環境	Opportunity (機会)	Threat (脅威)

◆SDGs宣誓書(イメージ)

SDGs達成に向けた宣言書

当社は、SDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

SDGs達成に向けた経営方針等

株式会社	は持続可能な開発目標に沿い、行動を取る事で、社会的責任を果たしお客様からの信頼を厚くし、合わせて一緒に仕事をする仲間を増やし持続可能な会社となる様努力を行います。その為に社員一人ひとりがSDGsの理解を深めSDGsの達成に貢献します。		
3側面 (主要分野を囲む)	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	重点的な取組
環境	環境負荷の低減 (CO2削減21継続)	環境負荷 50%削減	・CO2排出量、金属くず ・電力使用量調査 ・環境法規制の遵守 ・グリーンエネルギーへの転換 ・グリーン調達の推進
社会	生産性の向上 ・不良の削減 ・生産管理システム構築	会社方針の不良率 年間通して1%以下 生産管理システム 導入	・生産管理システム立案実施 ・作業方法見直し効率化 ・残業時間の削減
経済	技術力の向上	若手社員の勉強会 開催	・計画的な勉強会開催 ・若手への技術継承 ・安全性の高い部品の供給 ・ハイテク製品の開発
環境	技術力の向上	若手社員の勉強会 開催	・計画的な勉強会開催 ・若手への技術継承 ・安全性の高い部品の供給 ・ハイテク製品の開発
社会	技術力の向上	若手社員の勉強会 開催	・計画的な勉強会開催 ・若手への技術継承 ・安全性の高い部品の供給 ・ハイテク製品の開発
経済	技術力の向上	若手社員の勉強会 開催	・計画的な勉強会開催 ・若手への技術継承 ・安全性の高い部品の供給 ・ハイテク製品の開発

2022年 2月 24日

住 所：
企業名：

私たち「株式会社」が目指すべきこと

『 環境に配慮した物づくりの会社 』

CO2排出量、産業廃棄物の廃棄量を管理し、削減案を計画及び実施して地球温暖化防止に努めます。
又、クリーンエネルギーへの転換を進めます。

- ・CO2排出量、産業廃棄物量を管理。
- ・環境法規制の遵守

『 お客様の要望に応えます 』

お客様の要望に応えられる様に、関連会社様、協力工場様と連携を取りオリジナル商品などの新商品を開発します。

- ・ハイテク製品の検討及び実現

『 安全安心な製品を提供します 』

社員の技術力を向上させ安全安心な製品を提供致します。

- ・社員のセミナー参加、勉強会開催
- ・社員の勉強会開催

『 働きがいのある職場を作ります 』

生産管理システムを構築し、不良の削減や作業方法効率化を行い残業時間を減らし社員の負担を無くします。

- ・労働環境、安全衛生の配慮
- ・若手への技術継承
- ・加工品の進捗状況見える化
- ・性別を問わずエンパワーメント（能力を発揮）出来る職場にします。